

## 第2回庄内町学校適正規模・適正配置審議会意見集約

### 1 学校の適正な規模の考え方について

(1) 町内の小中学校のクラス人数等は、国・県の基準以下であり、特に統合によって、より適正になるとは考えられない。現状のままで良い。又、立川地区の小中一貫校の資料を示して欲しい。そうした案があってもいい。

**⇒今回の審議会に小中一貫校とはどのようなものかわかる資料を提示します。**

(2) 1学年は、2もしくは3クラスはあった方が良い。小中ともに統廃合はすべき。子供達は、環境になれると思う。親が反対しそう。

(3) 小学校、中学校ともに複数学級が望ましいと考えています。

(4) 適正な人数は1学年2～3学級だと思うが、この場合、現実的には、学校数が2～3となり、統合の組みあわせで難航が予想される。

庄内町として、小さくてもきめ細やかな教育の推進を掲げるならば、現在の学級数維持もありか。

(5) 教育法に定められている規模、距離、人数を基本とすべき。

(6) 国の定めた基準（県の政策33プランも含め）に添ってすすめて行って良いと思いますが、25人前後のプランを庄内町独自でやって欲しいと思いました。

**⇒学級編成基準は、国や県で定めており、それに基づかず町独自に基準を設定する場合は、その基準に基づく教員の増部分は町負担になります。仮にそれを実施した場合、県費負担の教職員と町費負担の教職員の2種類の教職員が発生し、待遇や職員管理の面の対応など、整理しなければならない課題が見込まれます。**

### 2 学校整備にかかる費用について

(1) 町の負担が少ない方が良いのですが、新築すると国庫負担が多い為、長寿命化ではなく、新築を町の負担減から選ぶのは邪道です。

**⇒近年、国では施設を長く使い続ける長寿命化に重点を置いており、補助率も引き上げております。一概に新築の方が、経費負担が少ないとは言えません。**

**制度改正** R4.5.17 文部科学省行政説明資料より

・学校施設以外との複合化を行う改築、長寿命化改修の補助率引き上げ(1/3⇒1/2)

(2) 統合する事によるコスト減を目指すべき。

(3) 施設の今後の維持管理費用の観点から、校舎については現在の学校数を減らしたうえで新築が望ましいと考えます。

(4) 小学校、幼稚園、公民館の一体感のある環境が理想だが、財政的には無理か。経費としてどこまで支出可能なのか上限があるなら知りたいと思う。

**⇒どの程度の規模の学校をつくるのか、どのような設備を導入するのか、また校舎や設備の全て補助や起債の対象になるのかなど歳出と共に歳入の見通しも関係するため、具体的な整備計画が出てこないとお示するのは難しい面があります。**

(5) どういう区割りになろうとしても、子供たち、先生が、安心安全に学校生活送られるように新築、修理は避けられない。(経費細部については、委員会で検討されたい。)

(6) アンケートに向けてという視点で考えたのですが、先日の資料では内容が難しく、無用な疑念を与えかねないと思いました。最悪は「コスト削減のために統合したいのだろう」という印象を与えてしまいそうです。例えばですが、以下の様にもっと簡潔な形ではいけませんでしょうか。(あくまで現時点では)

◎学校建設費用の目安

・新築：〇〇円 耐用年数：〇〇年 (面積、教室数が既存校と同等)

・長寿命化：〇〇円 耐用年数：〇〇年

※建設方法、債務方法により補助金を得る事も可能です。

・統合による新築：〇〇%

・〇〇債：〇〇%                      etc

**⇒アンケートはできるだけ理解しやすいように作成していきますので、ご意見をお願いします。**

(7) 資料2にある、校舎A、屋体Bとは何のことなんだろうと思いました。私のような無知な人にも分かる様にして頂けると助かります。

**⇒理解しづらい表記で申し訳ありません。できるだけ分かりやすい資料作成に努めていきます。**

(8) 4つのパターンに基づいてかかる費用を可視化する事ができたのはわかりやすい。費用削減ありきの検討にならないように配慮する必要があると感じました。

(9) なるだけ費用はおさえた方が良いだろうが、4区代表の佐藤さんのおっしゃる通り、必要な物(費用はかかる)必要だろうし、生徒(保護者も)がよりよい環境で学べる学校施設をつくっていければ良いと思います。

### 3 R2 学校適正規模・適正配置検討委員会グループワークに基づく資料について

(1) 幼・小・中とも義務制の学校制度は地域社会との結びつきで成立していると云っても過言ではない。それを崩すことで、地域の発展もさまたげられるのは賛成できない。

(2) 資料は、パワーポイント等でまとめた方が良いのでは？

⇒**できるだけ見やすい資料作成に努めます。**

(3) これから10年後20年後予想される子供たちの人数など学区ごとに分けて表せれば分かりやすい。

⇒**昨年度生まれた子ども達分は、令和10年度まで予測可能です。しかし、生まれていない子ども達の令和11年度以降の予測は難しくなります。人口ビジョンは、町全体で5歳刻みの年齢が今後どのように推移していくか大まかな区分で予測したものであり、残念ながら地区ごと年齢ごとまでは試算しておりません。(できません。)**

(4) いろんな場合を想定しての資料、とても分かりやすいです。各グループワークのポイントの課題のところ「不平等」が出てきますが、全員を平等にするのは無理なので仕方がないのでは？と思いました。

(5) この会議（検討委員会）に参加した者として、イメージがとてつきますし、この予算費用が、昨年の段階で資料・情報があったら良かったと思いました。

### 4 アンケート調査について

(1) 誰がどのような観点から作るのか？設問によって、出て来る解答が異なる。行政の意図的な誘導はないと思いますが・・・。

⇒**アンケートは、中立な視点で作成します。**

(2) 調査の項目でご説明あったとおりの内容で進めていただければと思います。

(3) 地域住民はもとより、中学生、高校生からも参加出来ないか。

⇒**中学生、高校生のアンケートは考えておりませんが、保護者の方がお子さんと話をしながら回答いただければと思います。**

(4) 昨年も自分の意見が保護者代表みたいに思われたら困るなど思っていたので、沢山の、様々な年代の方々の意見が聞けるのはとても良いと思います。大人だけでなく、子供達の意見を聞くのもいいかもしれません。例えば、クラスになじめないけどクラス替えがなくて辛い等。子供の今の気持ちも知れると思います。

⇒**(3)と同じ**

(5) 何について聞かれているのかがわかる質問の内容にする必要があると思います。  
住民の方の願いや声を反映させられる内容にしていきたい。

(6) 費用重視するのか、子どもたち（定住）の学力向上につながる施設建設を考えた方が良いと思います。

**⇒意図的にどちらかに誘導する設問ではなく、まずは町民の皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。**

## 5 その他 ～今後の審議会の進め方、さらに詳しく知りたい資料 その他

(1) 余目地区でも、小中一貫校があってもいいと思われる。立川中、余目中ともに同じ方向もベターなのでは？（小中一貫校の例、資料を。必要です。）

**⇒今回の審議会に小中一貫校とはどのようなものかわかる資料を提示します。**

(2) 庄内町に人が流れるもしくは定住する人を増やす事が重要である。

今のままでは清川、立谷沢地区に子供はいなくなる。

バス通学の全額の内容、内訳。

**⇒学校数によるスクールバス運行費用の試算資料を提示します。**

(3) 適正規模だけを論点とすれば答えは文科省の基準のようになると思う。基準にもとづいたその先の統合もどうしても一緒に考えてしまうので混乱してしまう。適正規模に基づく統合案まで設定できれば町民の方々も考えやすくなりそうだ。

(4) 私が考える方向としては、先日の会でもあった様に「どういう学校にしたいか」が先で、「それを実現するには、いくらかかるのか」という流れが理想と思っています。ただ、恐らく100%実現は無理だと思うので、落としどころも探す必要が出てくるとも思っています。

(5) 庄内町は地理的な面から、仮に統合したとしても、通学時間については十分配慮したものにする必要がありました。（統合した学校からほぼ等距離にある立地状況にあるところ）

小規模校の考えも十分に尊重して考えていく必要があると感じました。

(6) スクールバス費用

**⇒(2)と同じ**